

エコ村伝承館

『ものづくり体験を伴う環境学習』によるSDGsの推進

【取組み内容】

エコ村伝承館は、熊本県環境センターのエコロジストリーダー（環境にやさしい取り組みをする人を支援したり、指導したりする人）養成講座受講者の有志からなる団体で、2005年に発足しました。

「エコ」と「伝承」をキーワードに、環境啓発活動と昔からの日本人の知恵の伝承に取り組んでいます。

主に小中学生を対象として、竹などの自然材料や廃棄材料を使った楽しいものづくり体験と併せ、地球環境や身近な暮らしの環境保全を学ぶプログラムを提供しています。

発足から18年、累計では4万2千人以上の参加がありました。これからも、持続可能な社会に向け、楽しい学びを提供しながら、環境保全に取り組む子供たちを育む活動を続けていきます。



パワーポイントでの環境教育



もの作り後の水てっぽうあそび

評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	竹や廃材等を使ったものづくりと環境学習を組み合わせた楽しい学び。新しく養成講座を受講した会員が、多くの子供たちへの学びを継承。
包摂性	体験学習を県内各地で実施。主に小中学生を対象としているが、未就学児や高齢者等、求めがあれば工夫して実施。
協働性	県環境センターをはじめ、自治体や企業等の環境関係事業に協力。幼稚園、小中学校、学童保育、子ども地域食堂・・・等、活動の輪を拡大。
統合性	地球規模の環境破壊と私たちのくらしの関係性を伝え、考えてもらう。そのことが、持続可能な社会の担い手を育むことを願って。
透明性	活動はFacebook等で報告。事業計画、予算、決算等は総会で決定し、総会には県環境センターからも出席いただいている。

貢献するSDGsのゴール

